

予防接種を受けるときの注意事項

予防接種を受けることができない方

- 接種当日、明らかに発熱のある方（一般的に、体温が 37.5℃以上の場合）
- 重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな方
- ワクチンに含まれる成分によって、アナフィラキシーショック※）を起こしたことが明らかな方（※通常接種後 30 分以内に出現する呼吸困難や全身性のじんましん等伴う重いアレルギー反応のこと）なお、他の医薬品投与でアナフィラキシーを起こしたことがある人は予防接種を受ける前に、医師にその旨を伝えて接種を受けられるかどうかご相談ください。
- その他、医師より不適當な状態と判断された方

予防接種を受けるときに注意を要する方

- 心臓、腎臓、肝臓、血液、発育障害等の基礎疾患がある方
- 過去に予防接種で接種後 2 日以内に発熱、全身性発疹などのアレルギーを疑う症がみられた方
- 過去にけいれんの既往のある方
- 過去に免疫不全の診断を受けている方、近親者に先天性免疫不全の人がいる方
- ワクチンに含まれる成分によって、アレルギーを起こすおそれのある方
- 妊娠の可能性のある方

予防接種後の注意事項

- 接種後 24 時間（特に 30 分以内）は副反応の出現に注意してください。
- 接種後 1 時間を経過すれば、入浴は問題ありませんが、接種部位をこすらないようにしましょう。
- 接種部位を清潔に保ちましょう。

予防接種後の副反応

接種後に接種部位の発赤・痛み・腫れ、発熱・寒気・頭痛・倦怠感などの副反応が出ることがありますが通常 2～3 日のうちに治ります。また、他の病気が偶然重なって現れることもあります。接種後に高熱やけいれん等の異常が出現した場合は、速やかに医師の診察を受けてください。重大な副反応として、まれにアナフィラキシーショック（じんましん、呼吸困難等）、血小板減少などが現れることもあります。接種後、体調に変化があった場合は、すぐに接種医にご相談ください。医師の治療を受けた場合の費用は原則、自己負担です。